

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0465

(注)本稿は 2019 年 4 月 25 日から 5 月 3 日まで 4 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

## 大きく後退した GCC6 カ国、MENA 平均で世界 140 位:報道の自由度(2019 年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その6)

2019.5.5

前田 高行

目次	頁
1. 「World Press Freedom Index」について	2
2. 2019年版の MENA 各国の「報道の自由度」ランク	2
3. 2018年と2019年の自由度の比較	4
4. 2015年から2019年までの順位の推移	4

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第6回の MENA ランキングは、ジャーナリストの NGO 団体「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」(略称:RSF)が発表した「報道の自由度2019(Press Freedom Index 2019)」から MENA 諸

国をとりあげて比較しました。



RSF ホームページ: <http://index.rsf.org/#/>

## 1. 「World Press Freedom Index」について

「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」は、1948年の世界人権宣言、及びこれに続く1950年の「人権と基本的自由の保護に関する会議」などで採択されたいくつかの憲章や宣言に触発され、各国の報道関係者が自発的に結成した非政府組織(NGO)である。フランスのジャーナリストが中心となって設立されたため、正式の組織名は Reporters Sans Frontieres であり、その頭文字をとって RSF と略称され、本部はパリにある。

RSF は、世界各国で取材妨害を受け、時には生命の危険に晒されているジャーナリストを保護し、その障害を取り除く活動を行っており、その一環として2002年から毎年、報道の自由度に関する各国のランク「報道の自由の指標(Press Freedom Index)」を公表してきた。この指標は RSF が作成した50項目のアンケートに対して、世界各地の表現の自由のための擁護組織団体及び多数のジャーナリストが回答した結果を集計したものである。

2019年版 Press Freedom Index は世界180カ国の報道の自由度を指標化し、ジャーナリストに対する各国の対応ぶりを評価したものである。このため直近に報道の規制または記者の逮捕などの政府の取材妨害があった国、或いはジャーナリストが誘拐・殺害に遭った国についてはその年のランクが低くなる傾向がある。なお、RSF 自身は、このランクは「報道の質」の良否を示すものではない、と断っている。

よく知られている通りアラブ・イスラム世界は2011年の「アラブの春」以降もイスラム過激派 IS(イスラム国)によるテロ活動が吹き荒れた。その後シリアの内戦がようやく終結に向かったものの、リビアでは内戦が激化、またスーダンで大統領が退陣、またイエメンではイランとサウジアラビアの代理戦争の様相を呈し多数の死傷者や難民が出るなど社会不安が絶えない。またイスラエルではエルサレム首都移転やゴラン高原併合宣言などにより緊張が増している。

このため MENA 地域の報道の自由度は大きく制約され、ジャーナリストの活動が危険に晒される状況は一向に改善される気配が見られない。

(MENA の世界平均順位は180カ国中140位！)

## 2. 2019年版の MENA 各国の「報道の自由度」ランク(末尾表 6-T01 参照)

MENA 19カ国1機関(上記参照)の中で最もランクが高かったのはチュニジアであり、同国は世界180か国中の72位である。MENA トップとはいえ世界180か国の中では平均を少し上回る水準に

とどまっている。チュニジアに次ぐのがイスラエル(88位)でありこの2か国以外のMENA 諸国はすべて100位以下である。MENA の世界平均順位は140位と極めて低い。

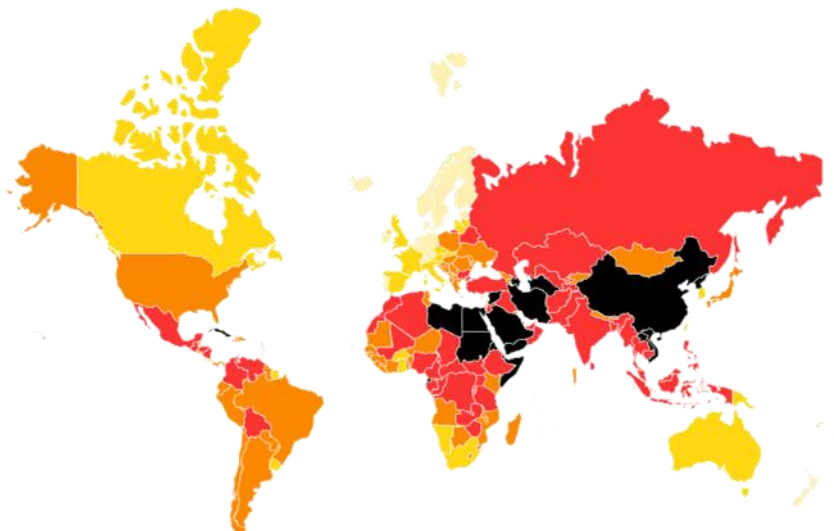
MENA3位はレバノンの世界101位、クウェイトが世界108位でこれに続き、少し離れて MENA5位のカタールは世界128位につけている。MENA の6位から10位まではヨルダン、オマーン、UAE、モロッコ及びパレスチナ自治政府が世界130位台に並んでいる。

中東の大国であるトルコは世界157位であり、同じく大国とされるエジプト及びイランはそれぞれ163位と170位である。世界最大の産油国としての経済力を誇るサウジアラビアの報道の自由度は180か国中の172位であり世界最低ランクに位置づけられ、MENA19カ国1機関の中でもシリア(174位)をわずかに上回るだけである。

ちなみに世界で報道の自由度が最も高い国はノルウェーで上位の国の多くは北欧の国々である。日本は世界67位であり米国(48位)よりかなり低く先進国の中では評価が厳しい。なお中国は世界177位でシリアとほぼ同レベル、世界最低の180位はトルクメニスタンである。

評価ポイントで見ると世界1位のノルウェーは一桁の7.82であるのに対して(ポイントが低いほど自由度が高い)、MENA トップのチュニジアが29.61、最も低いシリアは71.78、MENA の平均は48.82である。ノルウェーと MENA 各国の格差は非常に大きいと言える。(参考:米国25.69、日本29.36、中国78.92)

RSF のレポートではポイントに応じて各国の自由度を下記の5つに分類し色分けをした世界地図を掲載している。



- (1) 白(薄黄)色:0~14ポイント(Good situation)
- (2) 黄色:15~24ポイント(Satisfactory situation)
- (3) 橙色:25~34ポイント(Noticeable problems)
- (4) 赤色:35~54ポイント(Difficult situation)

(5) 黒色 : 55~100ポイント(Very serious situation)

この色分け地図では白(薄黄)色が最も自由度の高い国家群とされ、続いて黄色、橙色、赤色と移り、最後の黒色は報道の自由度が非常に深刻な状況にある国々とされている。これを見ると MENA の国々の多くは赤色であり、最低レベルの黒色もリビア、エジプト、バハレーン、イエメン、イラン、サウジアラビア、シリアの7か国あり、欧州、南北アメリカに比べ、報道の自由が極めて深刻な状況にあることがわかる。

(ランクを大幅に上げたチュニジア！)

### **3. 2018年と2019年の自由度の比較(末尾表 6-T01 参照)**

報道の自由度のMENAの平均ポイントは昨年の48.33から今年は48.82に悪化しており、世界平均順位も139位から140位に下がっている。各国ごとに前回と比較すると前回世界97位であったチュニジアが今回は大幅にランクを上げ、世界72位となり、イスラエルを抜いて MENA トップとなった。同国はポイントでも昨年の30.91から今年は29.61に改善している。チュニジアを除く MENA 上位10カ国はいずれもポイントが昨年より悪化している中でチュニジアのみがランクを上げていることは注目に値する。

ポイント、ランクがチュニジアに次ぐのはイスラエルであるが、同国は昨年に比べポイントが0.54下がり、世界順位も87位から88位に落ちている。MENA 上位グループの中では UAE(128位→133位)及びオマーン(127位→132位)が比較的大きく順位を落としている。MENA 下位グループも大半の国が世界ランクを落としており、最も順位の下落が大きかったのはイラン(164位→170位)である。そのような中で順位及びポイントを上げたのはイラクとシリアであり、イラクはポイントが56.56→52.60に、ランクも160位→156位に上昇している。

因みに日本は2018年のポイント28.64から2019年には29.36に落ちているが、世界順位は両年とも67位で変わらない。米国はポイント、世界ランク共に昨年より下がっている(世界順位45位→48位)。また中国はポイント(78.29→78.92)、順位(176位→177位)共に下落しており、同国よりランクが低いのはエリトリア、コートジボアール及び最下位トルクメニスタンの3か国だけである。

### **4. 2015年から2019年までの順位の推移**

(MENA 諸国の殆どは世界順位130位以下で低迷！)

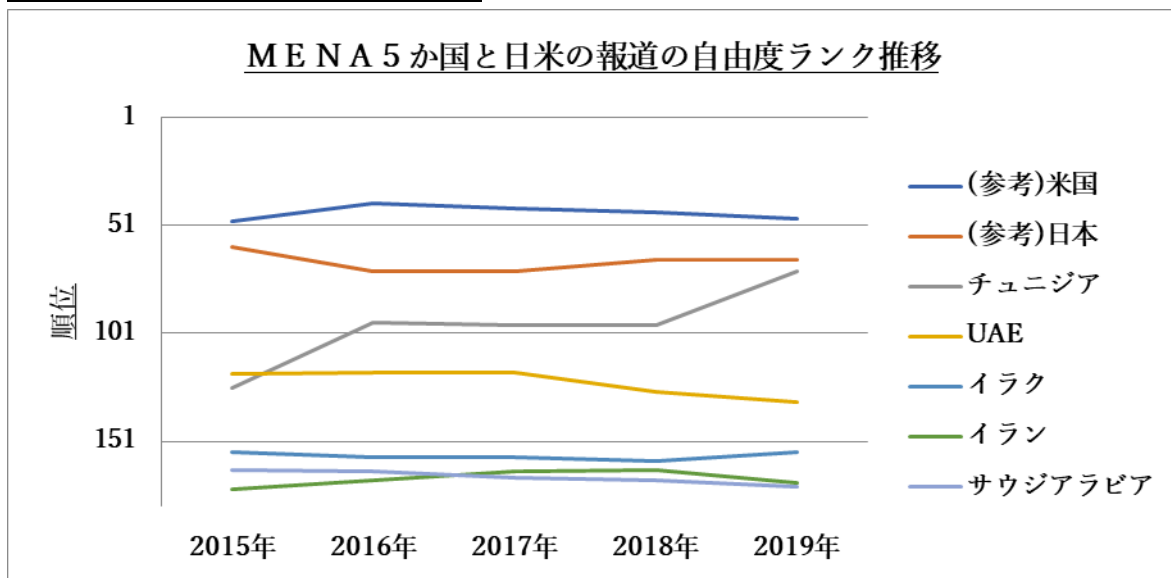
(1) MENA 全般の動き(末尾表 6-T02 参照)

2015年から2019年までの MENA 各国の世界順位の変化を見ると、今回チュニジアが3年ぶりに MENA トップに返り咲き、過去2年連続トップであったイスラエルは2位に落ちている。チュニジアは2016年以降世界100位以内を維持している。とは言え今回世界100位以内はこの2か国にとどまっており、MENA の平均順位は5年間を通じて138位乃至140位である。半数近い国は140位以下であり、特にイラン、シリア、サウジアラビア、イエメンなどは世界180か国の中で170位前後

の最下位グループにとどまっている。

2011年のいわゆる「アラブの春」により MENA 諸国の報道の自由が進展するかに見えたが、実際には強権独裁政権が倒れた後、自由が確保されたのはチュニジアのみでありその他の国々はいずれも政治的混乱、更には内戦の勃発あるいは新たな強権政権の発足等によりむしろ報道の自由が脅かされる事態となっている。例えばリビアはカダフィ政権が倒れた後、各地の部族勢力が群雄割拠する状況で治安が極度に悪化しておりジャーナリストの安全が確保できない状況である。さらに昨年以降アルジェリア、スーダンなどで政変が発生、リビアの内戦が激化する様相を呈している。そしてそれ以外の国々では過激派の台頭を警戒して治安対策を強化する動きがあり、このため MENA 地域全般で自由な報道が妨げられている。

## (2) 主要国の2015～2019年の推移



ここではイラン、イラク、サウジアラビア、UAE 及びチュニジアの5か国と米国及び日本の2015年から2019年までの推移を比較してみる。まず日本の場合2015年は世界61位で、その後大きく後退して72位に下落、過去2年間は少し改善して現在は世界67位となっている。米国は2016年に41位になったが、その後は43位→45位→48位と毎年順位を下げている。

一方 MENA 諸国の中ではチュニジアが最近5年間に自由度が大幅に上昇しており、2015年の126位から今年は72位に躍進している。これに対して UAE は2015年から2017年までは120位前後であったが、それ以降の3年間で世界ランクが大きく下がり、今年は133位にとどまっている。

イラン、イラク及びサウジアラビアは5年間を通じて150位台後半から170位台前半と世界の最低レベルに低迷している。3カ国の中でイラクは5年間を通じて150位台後半を維持している。イランは2015年の173位から2018年には160位台前半までアップしたが、今年は再び170位に転落している。米国の経済制裁に対抗する形でイラン政府の西欧メディアに対する報道規制が厳しくなっていることがうかがわれる。サウジアラビアは2015年の164位から5年連続でランクが下がっており、今年はイラン、イラクを下回る172位にとどまっている。同国は女性の運転や映画を解禁す

るなど社会的自由の拡大をアピールしているが、報道の自由度はむしろ後退していることが特徴である。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行      〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

**MENA(中東・北アフリカ)なんでもランキング 6:報道の自由度**

	国名	2019年		2018年		2019/2018	
		ポイント	世界順位	ポイント	世界順位	ポイント	世界順位
1	チュニジア	29.61	72	30.91	97	1.30	25
2	イスラエル	30.80	88	30.26	87	▲ 0.54	▲ 1
3	レバノン	32.44	101	31.15	100	▲ 1.29	▲ 1
4	クウェイト	33.86	108	31.91	105	▲ 1.95	▲ 3
5	カタール	42.51	128	40.16	125	▲ 2.35	▲ 3
6	ヨルダン	43.11	130	41.71	132	▲ 1.40	2
7	オマーン	43.42	132	40.67	127	▲ 2.75	▲ 5
8	UAE	43.63	133	40.86	128	▲ 2.77	▲ 5
9	モロッコ	43.98	135	43.13	135	▲ 0.85	0
10	パレスチナ自治政府	44.68	137	42.96	134	▲ 1.72	▲ 3
11	アルジェリア	45.75	141	43.13	136	▲ 2.62	▲ 5
12	イラク	52.60	156	56.56	160	3.96	4
13	トルコ	52.81	157	53.50	157	0.69	0
14	リビア	55.75	162	56.79	162	1.04	0
15	エジプト	56.47	163	56.72	161	0.25	▲ 2
16	バハレーン	61.31	167	60.85	166	▲ 0.46	▲ 1
17	イエメン	61.66	168	62.23	167	0.57	▲ 1
18	イラン	64.41	170	60.71	164	▲ 3.70	▲ 6
19	サウジアラビア	65.88	172	63.13	169	▲ 2.75	▲ 3
20	シリア	71.78	174	79.22	177	7.44	3
	(MENA 平均)	48.82	140	48.33	139	▲ 0.49	▲ 0
	(国数)		180カ国		180カ国		
	日本	29.36	67	28.64	67	▲ 0.72	0
	世界1位(ノルウェー)	7.82	1	7.63	1	▲ 0.19	0
	米国	25.69	48	23.73	45	▲ 1.96	▲ 3
	中国	78.92	177	78.29	176	▲ 0.63	▲ 1
	世界最下位(トルクメニスタン(2019)北朝鮮(2018))	85.44	180	88.87	180	3.43	0

**MENA(中東・北アフリカ)なんでもランキング6:報道の自由度**

国名	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
	180カ国	180カ国	180カ国	180カ国	180カ国
アルジェリア	119	129	134	136	141
バハレーン	163	162	164	166	167
エジプト	158	159	161	161	163
イラン	173	169	165	164	170
イラク	156	158	158	160	156
イスラエル	101	101	91	87	88
ヨルダン	143	135	138	132	130
クウェイト	90	103	104	105	108
レバノン	98	98	99	100	101
リビア	154	164	163	162	162
モロッコ	130	131	133	135	135
オマーン	127	125	126	127	132
パレスチナ自治政府	140	132	135	134	137
カタール	115	117	123	125	128
サウジアラビア	164	165	168	169	172
シリア	177	177	177	177	174
チュニジア	126	96	97	97	72
トルコ	149	151	155	157	157
UAE	120	119	119	128	133
イエメン	168	170	166	167	168
(MENA 平均)	139	138	139	139	140
世界1位	フィンランド	フィンランド	ノルウェー	ノルウェー	ノルウェー
日本	61	72	72	67	67
米国	49	41	43	45	48
中国	176	176	176	176	177
世界最下位	エリトリア	エリトリア	北朝鮮	北朝鮮	トルクメニスタン